



学校だより

令和6年9月2日(月)発行 第7号

【教育目標】未来を生き抜く人間の育成

【目指す児童像】

〈考える子〉考え伝え、進んで学び合う子

〈やさしい子〉規律正しく、思いやりのある子

〈たかましい子〉健康・安全な子

◆ 学力調査結果 ◆

4月に実施した、4・6年生の石川県基礎学力調査及び6年生の全国学力・学習状況調査の結果が分かりましたので、お知らせ致します。

1. 学力に関する本校の主な結果（県との比較）

【特に良かった内容】

6年国語：情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し
使うこと

6年算数： $350 \times 2 = 700$ を基に、 350×16 の積の求め方と答えを書くこと

6年社会：消防署や警察署などの関係機関が連携していること

6年理科：昆虫の成虫の体のつくり

6年英語：文字の読み方が発音されるのを聞いて、アルファベットの小文字を書くこと

4年国語：相手に伝わるように、理由や事例を挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成
を考えること

4年算数：波状的繰り下がりのある減法（ $506 - 78$ ）

【特に課題である内容】

6年国語：日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づくこと

6年算数：示された桜の開花予想日の求め方を基に、開花予想日を求める式を選び、開花予想日
を書くこと

6年社会：水産物の輸送の工夫について、資料を基に考察し、適切に表現すること

6年理科：日光を当てたときのものの温まり方について実験結果を基に考え、表現すること

6年英語：日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ること

4年国語：書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくること

4年算数：分数の意味と表し方（1より小さい数直線上の分数を答える問題）

3. 課題に対する今後の取組

6年国語：周りの情報を読み、判断して、当てはまる選択肢を選ぶという活動を、国語科だけで
なく、他教科でも行う。また、なぜそれ以外が正しくないのかを、理由も合わせて考
えさせる。

6年算数：算数の学習と日常生活とのつながりを授業の中で触れたり、活用問題を取り入れたりす
る。

6年社会：課題について教科書等で調べる際に、調べてわかったこと（事実）だけでなく、自分

の考えを書いたり話したりできるように、ノートの手書き方や交流活動を工夫する。

6年理科：デジタル教材だけでなく、操作したり、観察したりする等、実感を伴った理解へつなげる環境づくり。日常生活と結びつけられるよう、学習の場を設定する。

6年英語：聞く力を育てるために、授業者による英語を増やす等、いろいろな場面で英語を聞かせる機会を増やす。

4年国語：書いた文章を読み返すことを習慣づけ、正しい表現や表記に対する意識を高める。また、問題文を読んで意味を理解させること、それに正対した答えを理由や根拠をもとに書かせること。

4年算数：分数や小数など新出の単元では、基礎的な意味や表し方を丁寧に扱い定着を図る。

4. 質問紙について（学習方法や生活等について）

【特に良かった項目】

6年：「道徳の勉強が好き」

「英語の授業がわかる」

「わからないところを勉強し直す」

「計画を立てて学習する」

「授業の最後に振り返る活動」

4年：「国語の授業がわかる」

「学校のことを家の人と話す」

「自分によいところがある」

「地域の行事に参加」

【特に課題が見られた項目】（県との比較）

6年：「理科，家庭，体育の授業が好き」

「コンピューターを使うことが好き」

4年：「算数，道徳，学活，社会の授業が好き」

「自分の考えを発表することが好き」

【今後に向けて】

全ての学年で各ご家庭と協力して、今後も引き続き、子どもの努力の過程をほめ認めていきます。一人ひとりの良さを認め、子どもにとって、より楽しい学校づくりを継続します。早寝（低学年 9:00 まで，中学年 9:30 まで，高学年 10:00 までに就寝）・早起き・そして朝ご飯を食べて，規則正しい生活を送ります。計画的な家庭学習，3時間以上のゲームはできるだけ，15分でも少なくする等により，健やかな思いやりのある，未来を生き抜く人間の育成へ，これからも児童を育てていきます。

質問紙には、「あいさつ」の項目はありませんが，学校でも地域でも，家庭でも「出会う人に自分から挨拶ができる」児童をこれからも家庭・地域と連携して育てていきます。